



ATA 190 の設置

ここでは、ATA 190 ハードウェアを接続し、QED およびファームウェア ファイルをロードして ATA 190 を設定する方法について説明します。QED ファイルを最初にインストールした後で、ファームウェア ファイルをインストールします。

Cisco ATA 背面パネルの接続

図3-1 Cisco ATA 背面パネル



RESET:ペーパー クリップなどを使用してこのボタンを短く押し、ユニットを再起動します。出荷時のデフォルト設定に戻すには、10 秒間押し続けます。

PHONE 1/PHONE 2:アナログ電話または FAX への接続。

NETWORK:IP ネットワークへの接続。

POWER:5V 電源アダプタへの接続。

ネットワーク要件

ATA 190 は、IP テレフォニー ネットワークのエンドポイントとして機能します。次の機器が必要です。

- コール制御システム
- 音声パケット ゲートウェイ。公衆電話交換網 (PSTN) に接続する場合には必須です。アナログ キー システムが有効な場合、ゲートウェイは必要ありません。
- イーサネット接続

安全に関する推奨事項

一般的な安全性を確保するには、次のガイドラインに従ってください。

- 本製品を濡らしたり、装置内に液体を注いだりしないでください。
- 本製品を開けたり、分解したりしないでください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- ATA 190 に付属の電源装置のみを使用してください。



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。



警告

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐに手が届く状態にしておいてください。



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行ったりしないでください。



警告

感電を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートは RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続するときは、注意事項をよくお読みください。

翻訳版の警告については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco ATA 190 (Cisco ATA 190 に関する法規制の遵守および安全情報)*』マニュアルを参照してください。

ATA 190 パッケージの内容

ATA 190 パッケージには、次のものが含まれています。

- Cisco ATA 190 Analog Telephone Adapter
- *Cisco ATA 190 Analog Telephone Adapter At a Glance*
- *Cisco ATA 190 Analog Telephone Adapter (SIP) Product Safety and User Manual (Cisco ATA 190 Analog Telephone Adaptor (SIP) 製品のセーフティおよびユーザ マニュアル)*
- Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco ATA 190 (Cisco ATA 190 に関する法規制の遵守および安全情報)
- 該当する国のクリップ付き 5V 電源アダプタ
- イーサネット ケーブル



(注) ATA 190 を使用する際には、装置に付属の 5V DC 電源アダプタだけを使用してください。

ATA 190 の設置

ATA 190 を設置する手順は、次のとおりです。

手順

-
- 手順 1** 電源をアダプタ ポートに接続します。
- 手順 2** ネットワークから ATA 190 のネットワーク ポートにストレート イーサネット ケーブルを接続します。各 ATA 190 には、イーサネット ケーブルが 1 本付属しています。
-



(注) 10 Mbps 接続の場合は、カテゴリ 3/5/5e/6 のいずれのケーブルでも使用できますが、100 Mbps 接続にはカテゴリ 5/5e/6 を使用する必要があります。

ATA 190 への電話機の取り付け

ATA 190 には 1 台または 2 台の電話機を取り付けることができます。その際、RJ11 ケーブルを使って電話機を ATA 190 の電話ポートに接続します。そのポートでアクティビティが行われていると、ATA 190 の PHONE1 および PHONE2 の LED が緑色に点灯します。

ATA 190 の起動プロセスの確認

ATA 190 が電源に接続されると、起動プロセスが開始し、次の一連のステップが実行されます。

1. 電源 LED が点灯します。
2. ネットワーク LED が点滅します(WAN ポートに接続されたネットワーク ポートにデータトラフィックがある場合)。このステップで、ATA 190 はアプリケーションを起動します。
3. ネットワーク LED が点灯します。
4. Phone1 と Phone2 が Cisco Unified CM に正常に登録された後、対応する LED が点灯します。
5. すべての LED が点灯します。

ATA 190 フラッシュ メモリが消去された場合やロードが破損している場合、ATA は手動アップグレードでイメージを復元できるリカバリ モードになります。

電話機をオフフック状態にすると、電話機の LED が点滅し、ダイヤル トーンが聞こえます。ATA 190 の起動プロセスが完了しました。

起動ネットワークの設定

ネットワークで DHCP を使用していない場合は、ATA 190 デバイスをネットワークに設置した後、ATA 190 で次のネットワーク設定を行います。

- IP サブネット情報 (サブネット マスクおよびゲートウェイ)
- TFTP サーバの IP アドレス

必要に応じて、次のオプション設定を行うことができます。

管理 VLAN ID

上記の情報を収集してから、付録 B「音声メニュー コード」の手順を参照してください。

ATA 190 でのセキュリティ設定

セキュリティ機能を使用すると、なりすましやデータ改ざんの脅威から電話機を保護できます。これらの機能によって、電話機と Cisco Unified Communications Manager サーバの間で認証された通信ストリームが確立および維持され、転送前のファイルにデジタル署名が実施されます。

セキュリティ機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。

電話機の [Security Configuration] メニューからローカルで有効な証明書 (LSC) のインストールを開始できます。このメニューでは、LSC の更新および削除も実行できます。

Cisco Unified Communications Manager からデバイス プロファイルのローカルで有効な証明書 (LSC) のインストールを開始できます。[Device] > [Phone] > [Phone Configuration] メニュー オプションを使用します。このメニュー オプションでは、LSC の更新および削除も実行できます。

開始する前に、以下のようにして、Cisco Unified Communications Manager および CAPF のセキュリティ設定が適切に完了していることを確認します。

- Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理ページで、CAPF 証明書がインストールされていることを確認します。
- CAPF は実行および設定されています。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。



(注)

LSC をアップデートする必要がある場合は、付録 B「音声メニュー コード」の手順に従って、工場出荷時のデフォルトにリセットします。